

日本の女性に光を！

子宮頸がんになる前の 病変を切らずに治す道へ。

公的資金獲得へ向けての寄付を募ります。



関西医科大学
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

早期の検証試験へ向けて。

クラウドファンディングにて寄付募集中

子宮頸がんの前がん状態を光で治療する未来へ | 公的資金の獲得に向けて。

関西医科大学 産科学婦人科学講座の北 正人です。

子宮頸がんは、年間で約1万人の女性が診断され、特に初期がんである上皮内がんが、日本で増加しています。そのため、HPVワクチンの積極的勧奨と並行して、多方面から子宮頸がんに関心を持ち、対策を進めていくことが必要です。（※出典：国立がん研究センター がん情報サービス）

その対策の一つとして、「がん細胞に集まり、光に反応して抗がん作用を示す薬剤（5-アミノレブリン酸・5-ALA）」と「特定の波長の光の照射」を組み合わせ、がん細胞に細胞死を誘導する仕組みを応用して、子宮頸がんの前段階、子宮頸部上皮内腫瘍（CIN）の状態での治療することで、その後の子宮頸がん発症を予防する治療法「光線力学的療法（PDT）」の確立を目指しています。

子宮頸がんの前がん状態に対する有望な治療法でありながら、子宮頸がん予防の世界的潮流はHPVワクチンであり、企業の協力がなかなか得られず計画が止まってしまっています。HPVワクチンの積極的勧奨と並行して、この治療法を一刻でも早く確立するために、クラウドファンディングを行うことにいたしました。

今後、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の支援による非臨床試験～臨床試験実施を目指しています。その研究資金獲得を円滑に進めるために、外部組織との事前準備費用を募り、これからの臨床試験への計画を加速させたいと考えています。

実用化に向けた資金獲得のハードルを越えるために、皆さまのご寄付と応援をよろしくお願いいたします。

クラウドファンディング(寄付)募集概要

目標金額：**1,000万円**

※本プロジェクトはAll or Nothing方式です。終了日までに目標金額が集まった場合に寄付金を受け取れます。

※本プロジェクトは寄付金控除の対象になります。

寄付募集期間：8月31日（水）23時まで

関西医科大学 子宮頸がん レディーフォー



詳細は以下のQRコードまたは
URLから特設サイトをご覧ください。



https://readyfor.jp/projects/kgan_pdt

お問い合わせ先

関西医科大学 広報戦略室
佐脇（内線：2134）

・電話番号：072-804-2128

・E-MAIL：sawakima@hirakata.kmu.ac.jp